

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年2月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104365
法人名	有限会社 ベストケアライフ
事業所名	グループホーム かわかみ
所在地	鹿児島県鹿児島市川上町1854-1 (電話)099-243-7735
自己評価作成日	平成25年11月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成25年12月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・家族参加のイベントを行ったり、ドライブ、外食など日常的なレクリエーションを行っている。
- ・入居者が自分らしく生活できるように支援している。中庭の散歩など毎日が楽しく生活できるようにしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○鹿児島市の郊外で吉田インターから市内へ向かって数分のあたりに位置し、近隣には他の施設も点在している。ホームの建物は平屋づくりで事務所を中心に2ユニット配置されている。

○庭側の居室ははき出し窓になっており、見晴らし、開放感と共に災害時には避難口としても重要な役目を担っている。また、リビングもはき出し窓で十分な広さがあり、自由に庭に出ることができる。多くの居室にトイレ、洗面所が設けてあり、利用者のプライバシーの確保や自立の維持には大きく役立ち、何より自分の部屋であるという印象が強く感じとれる環境作りがなされている。

○利用者の楽しみのひとつでもある外出は一人ずつ、または2~3人一緒に実施している。職員は全員で協力しながら、利用者が満足できるような外出支援となるようにホーム全体で体制づくりに取り組んでいる。例えば、少しの時間を活用してその方の望む外出ができ、五感の刺激となり満足感が得られるよう努めている。また、ホームは常に地域に密着した適切なサービスの提供ができるように、管理者と職員が連携して取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・ホームの理念を朝礼の時声に出して読み、確認を行っている	ホーム開設時に作成した理念に沿って日々の業務を遂行している。理念は掲示するとともに、毎朝唱和する事で理念の意義を振り返りながら理解を深めるように努めている。また、職員で検討した具体的な目標を加えて、利用者個人を大切に、その人らしく楽しく暮らせるように日々のケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	・地域の催し物に参加したり、ホームのイベントの時に声掛けして、参加のお願いをしている	町内会に加入し、代表者は総会や主行事などに参加して地域の情報などを得ている。日常的に散歩や買い物に出かけ、地域の人々と挨拶や話を交わしている。また、サマーボランティアで、児童・学生等の受け入れを実施し、中学生の職場体験学習の要請にも応じている。今後も積極的に地域との交流を深めようとする姿勢が伺える。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・町内会に加入し、回覧板を通じてホームのことを理解していただくように努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・ホームからの報告と出席者から意見をもらい、話し合いでサービス向上につなげている	運営推進会議は、ご家族や町内会長・民生委員・行政の職員など、約10名の委員で構成され、ホームより参加を要請して定期的に開催されている。ホームの現況報告や実地指導時の指摘事項、問題点、行事の実施や予定等について活発な意見交換が行われている。委員からの提案や意見に対してはホーム内で検討が行われ、関係者にそれぞれ報告されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 市町村や地域包括と連絡を取り合いながら、協力し合えるよう努めている 	地域包括担当者には毎回の運営推進会議に出席して頂くとともに、長寿支援課に利用者の環境が変わったことに関して今後の必要な対応等を相談し、協働して継続した対応に努めている。また、市の事業である「見守りメイト」の実習の受け入れや、介護相談員の方からの聞き取りの報告や助言もケアの質の向上に活かしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議の時、勉強会を開催している 玄関のカギはせず、身体拘束のないようなケアをしている 	拘束の事例はないが、利用者の権利擁護等に関する事は、ホームの勉強会の際に触れて職員の理解を深めている。原則として居室や玄関は日中施錠は行わず、居室の半分ははき出し窓であるが、職員の連携による見守りや声かけを通じて利用者の安全確保と自由な暮らしの支援に日々取り組んでいる。特に言葉による拘束の防止については、職員会議で繰り返し話し合い理解を深め、サービスに反映できるように努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 研修会に参加して研修報告書の提出をしている 言葉使いにも注意しながら統一ケアで気を配っている 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議の中で話し合う機会を作っている 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・管理者が説明を充分に行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・運営推進会議を行い、家族の意見を聞いている</p>	<p>利用者の意向や思いは日常の暮らしの中で汲みとるように努めている。ご家族からの意見や要望は年3回の大きな催し前の面談や、ホームからご家族宛への毎月のお便りや手紙で確認している。また、頻繁に面会のある方は、その時に話を聞くなど親しみやすい雰囲気作りにも努めている。出された意見や提案等については職員が申し送りや職員会議で内容を検討し、ケアに具体的に反映できるように取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・常勤会議を行い、意見を聞いている</p>	<p>ユニットリーダーが中心となり、個別に意見や要望を聞き取るようにしている。また月1回の職員会議は、職員一人ひとりの意見や要望などが出やすい雰囲気運営されている。研修に際しては、事前に研修内容を明確に提示して希望者が積極的に研修に参加できるようにしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・契約更新時やその都度意見を聞いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・外部での研修会参加を促したり、月一度の職員会議で勉強会を行っている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・外部での研修参加を促している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・本人の生活状況や意向を基本に、少しずつ慣れてもらうよう工夫して環境作りを行っている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・家族と本人の希望に近づけるよう、支援に努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・本人の要望や訴え等を話の中から聞き出して対応している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・居室で過ごす時間だけでなく、ホールで他入居者と楽しく過ごす時間も持ってもらっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・本人より家族との接触を希望されることもあり、その意向を伝えている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・ホームに来られることもあり、許される限り面談されている	本人を取り巻く人間関係などは入所時の面談等で概ね伺っている。利用者のご家族や知人の来訪時には、ゆっくりと過ごせる環境を提供している。また、本人が希望する馴染みの理容室や商店での買い物、電話の取次ぎや手紙の支援のほか、知人との交流やご家族の協力での一時帰宅、利用者が希望する面会、馴染みの場所への同行等を可能な限り支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・一日の日課の中でお茶時の後に他入居者と一緒に歌を歌ったりゲーム等行っている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・相談があれば話を聞くなどの対応をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・本人の希望や思いを聞き、家族とも相談しながら、本人の要望希望を聞いている	利用開始時に、本人・ご家族から日々の暮らしの様子等を伺っている。入所後は本人の意向を汲み取るように全職員で些細な発語、しぐさ等を見逃さないように努めている。職員は把握できた情報を共有して、内容を評価・検討し、日々のケアに反映させている。また、本人が楽しく過ごせるようにご家族とも十分に話し合い、本人が希望する援助について検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・好きな食べ物や昔のことを尋ねたり、対話を大切にし、対話の中から聞くように努力している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・バイタルチェックをし、その日の健康状態に合わせ、遊学の参加、お手伝いの積極的に参加してもらう		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・職員会議等でカンファレンスをし、その方に合ったケアをするために意見を出し合って今を元気でより良く生活していただくために介護計画を作っている	本人やご家族の思いを踏まえ、職員全員で日々の生活を見守りながら新たなニーズや改善が見られた点などを話し合い、申し送りで内容を共有している。特に日常生活を通して利用者の希望を把握するように努め、担当医の方針などもケアプランに反映させて評価・見直しは定期的に行い、適切な援助に努めている。また、関係者・職員からの意見を十分反映させ、利用者の変化に応じた介護計画の見直しが適切に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・一日の生活を記録し、健康状態、精神状態を申し送り、ケアの実践に移している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・本人や家族の要望に応じ、外出や病院受診なども支援している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・地域の行事やボランティアなどにより、楽しく過ごせるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・本人家族の希望でかかりつけ医に往診してもらい、適切な治療を行ってもらっている	ホームは本人やご家族の希望を何より尊重してかかりつけ医の受診を支援するとともに、緊急時の対応も踏まえて協力医の受診も行なっている。主治医の意見、治療方針などはケアプランに組み込まれ、ホームが受診同行の際は結果や薬等の事は家族に伝え、家族対応時は家族より報告を受ける等、十分に連携が図られている。	

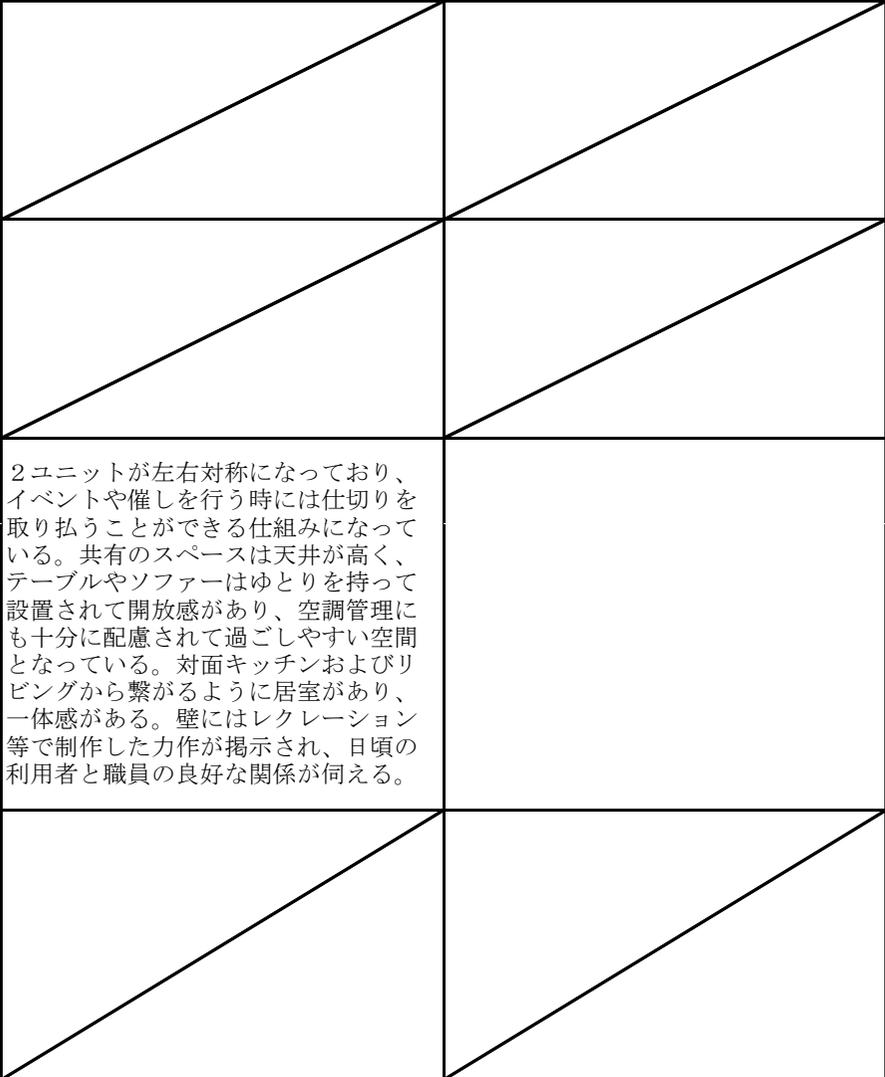
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の交代時に身体の変化を申し送り伝える ・ケアマネージャーに状態を報告する 		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との話し合いで決めている。また、病院関係者との情報交換や相談に努めている 		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態を把握し、家族との連絡をし、話し合いを元に対応している 	<p>重度化や終末期のケアについては、入所時の説明で医療行為ができない事など本人やご家族に説明して同意を得ている。実際に重度化した際には多様な援助が必要となり、協力医の支援のもとで、本人・ご家族の強い思いに対応した事例もあるが、基本的には重度化した場合は医療機関の検討をお願いしている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議などで勉強会をしたり、外部の講習会等に参加したりしている 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・消防署より来ていただき、消火訓練や避難誘導の方法などしている</p>	<p>消防署の指導もとで年2回、夜間も含む火災や地震等を想定した避難訓練・消火訓練を実施している。自動通報装置は代表者・ホーム長・管理者等に連動し、スプリンクラーも設置している。また、食料や飲料水等の備蓄も十分に整っている。地域の防災活動にも参加しており、避難についても場所や避難経路等で地域との協力が強化できるように、訓練日の案内等を回覧板などで知らせる検討も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・その人が何を考え、何を思っているか常に考えている。言葉かけで傷をつけないよう注意を払っている	日常のケアに際して職員は、利用者の尊厳やプライドを損ねることのないような言葉かけや対応に努めている。また、個人情報の関係機関への提供はご家族の同意を得ており、各種の記録の保管や居室のプライバシー保護にも十分な配慮をしている。排泄関連用具、用品等の配置や取扱いにも羞恥心やプライバシーに気を配っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・本人が話しやすい雰囲気を作り、気軽に声をかけられるようにしている。本人の希望に近づけられるように努力している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・その日のスケジュールの中で本人が拒否すれば無理はさせず、本人の希望を優先する		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・2カ月に1回の散髪、手足のケアなどを行っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・食事の時間を楽しんで頂くために見た目にも気を配り、食べやすいようそれぞれにあったセッティングをしている。片付け職員と共に楽しくできるよう声かけしている	日頃の暮らしの中で把握できた利用者の嗜好を献立に反映させると共に、野菜の下ごしらえや下膳、後片付け等を通じて自立を促している。また、季節や天候に応じて開催する庭でのお茶会や、職員と一緒にのおやつ作り、旬の食材利用、行事食や誕生会等の特別食、ご家族とのバイキングなど、様々な「食」への楽しみを工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・一人ひとり残さず食べられるよう工夫をして出している。水分も各食事、おやつとの時間と摂取を見届ける		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・居室で職員が付き添い、声掛けしながら入れ歯を取りうがいをして頂く。出来ない入居者には職員がケアをする		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・声掛けがあれば職員と一緒にトイレに、他の人には声をかけながら排泄を促す	排泄チェック表は必要時には使用しているものの、現在は自立の方が多く利用は少ない。利用者の排泄状況を十分に観察して情報を共有し、不安、尊厳に配慮しながら時間を見ての言葉かけで誘導している。個人の排泄機能の維持にも繋がるように自立に向けた支援を行っている。これらはケアプランにも反映して、排泄環境も利用者・ご家族・職員で検討し、個々の状態に合わせた対応が行えるように取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・排泄の記録を取りながら飲み物食べ物に工夫をして個人個人に合わせた対応をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・本人の希望時間に合わせて入浴ができるように支援を行っている	入浴は、体温・血圧・脈拍等の測定および利用者の状態を観察して実施している。希望があれば午前・午後とも入浴可能であり、入浴中や入浴後も利用者の体調等には十分に配慮している。必要に応じて足浴や清拭・シャワー浴などで対応する事もある。入浴時のゆったりとした対話を大切にし、利用者が楽しめ、リラックスできる入浴介助となるように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・一人ひとり生活習慣が違うので、状況状態に応じて声掛けしてゆっくりと休んで頂くように支援を行っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・管理者の指示に従い服薬支援を行い、病状の変化がある時も管理者の指示に従う		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・一人ひとりの生活習慣が違うので、楽しく過ごせるように支援を行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・一人ひとりの希望に添えるように戸外に出かける時は支援を行い、お花見やドライブなどを行っている	利用者の健康状態やその日の状況に応じて外出の計画を立て、基本的には職員で対応し、買い物や菓子店でのコーヒータイム、家族との外出も有意義な時間が持てるように個別に支援している。近隣の散歩や買い物・美容室・ドライブ・季節の花見など、外出の機会は多く、ホームの庭での茶話会も含めて楽しく過ごせるように工夫して支援に取り組んでいる。また、夕方など外出希望が出たときは、利用者が満足できるように散歩に同行している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価			
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・本人がお金について理解しておれば、職員が気をつけてお金の所持支援を行う</p>				
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・本人の希望により家族との連絡が必要な時は見守りなどして支援を行う</p>					
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・共用の空間は職員が気をつけている。掃除等適切に行い、利用者が気持ちよく利用できるように工夫している</p>			<p>2ユニットが左右対称になっており、イベントや催しを行う時には仕切りを取り払うことができる仕組みになっている。共有のスペースは天井が高く、テーブルやソファはゆとりを持って設置されて開放感があり、空調管理にも十分に配慮されて過ごしやすい空間となっている。対面キッチンおよびリビングから繋がるように居室があり、一体感がある。壁にはレクレーション等で制作した力作が掲示され、日頃の利用者と職員の良好な関係が伺える。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・共用空間で一人になりゆっくりとソファでくつろぐ方や、利用者の方々と楽しくお話ししており、思い通りに過ごしている</p>				

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・自分の今まで使っていた物は持ちこみできて、居室で過ごしている。たとえばテレビ、ラジオ、カセット。CDなど</p>	<p>居室ははき出し窓になっており、窓下からは芝生やかえで等の木々が眺められて季節が感じられる。居室の中にもトイレが設置されている部屋があり、利用者の機能の維持に役立っている。ベッドはたたみが使用されて座位も安定し、立ち上がりやすくなっている。居室には、個々の馴染みの椅子や机・テレビ・写真・小物などが多く持ち込まれ、利用者が過ごしやすい環境となるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・一人ひとりのできること分かることを活かして、安全な生活が送れるように見守りしながら工夫している</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・ホームの理念を掲示してあり、朝礼時に声を出して読むことで再確認している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・地域の行事に参加したり、ホームに来てもらい棒踊りを披露していただいたり保育園児の訪問を受け入れるなど交流している		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・町内会へ加入し、事業所のことを理解してもらうように努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・地域の方、家族、管理者、職員等が会議で意見交換し、よりよい利用者へのサービスに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	・市町村担当者は包括センターと協力し、事業所を理解していただけるような交流をしている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	・職員会議において身体拘束しないケアを確認しあっている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・毎日のケアの中で虐待ではないか?と思ったら職員間で話し合い、防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	・毎月の職員会議において意見交換し、それを活用できるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・管理者が説明等行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・2ヵ月に1回行われる推進会議や家族会の際、意見要望を聞いたり運営に反映させている</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・職員会議の際や常勤を通じて意見を出したり、直接相談して意見出している</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・職員の勤務の要望、条件相談しやすい</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・研修に積極的に参加させ研修報告を出して、職員会議の際発表させている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・他のグループホームの勉強会に参加、交流を通じてお互いの問題点が話し合える。向上につながっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・顔を見ながらその日の状態を見ている いろいろな話題、ニュース等話しかけて良い関係作りに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・入居者の生活の中で目に見えている状態、困っていることなど気付いた時に話し合っって対応していく		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・事前にホームの見学していただき、説明している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・生活の中で支援、できることをともして、楽しめる雰囲気にもっていく		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>・家族的な雰囲気を持ち、入居者を支えている</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>・入居者が今まで大事にしていた物、声掛けしながら話の中で支援している</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>・好きな音楽、歌など声掛けあい。参加して楽しく支援している</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>・相談に乗ったり悩み等聞いてよい状態で生活していけるよう支援している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・本人の希望や意向を把握して職員やケアマネと一緒に検討している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・本人との日常的な会話の中で話を聞き出し、把握するよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・ケア記録、申し送り、職員会議などで把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ケアマネと相談して決めている ・ユニット会議等で意見交換し検討している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・毎日ケア記録を記入して職員で見直している</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>・かわかみだよりで毎月家族にお知らせをする</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>・本人が安心して暮らすように支援している</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・かかりつけの医者が1週間に1回みえて受診を受けている。体調が悪い時はその都度往診を受けている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・利用者の日々の体調不良や変化について、ケアマネ報告、体調管理に努めている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・家族との話し合いの中で決定している</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・ホーム内でどこまでケアできるのか必要に応じて相談し話し合う</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・医療、応急手当の初期対応、講習会や勉強会を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・年2回消防避難訓練行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・個性を大事にし一人ひとりにあった対応をしている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・希望、意見などを聞き希望に添えるよう職員で話し合い、ケアマネの方に相談している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・その人にあったペースで生活してもらう。遊学など、参加は自由に行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・利用者と相談したうえで決めている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・テーブル、食器など拭いていたり食材のカットなどの手伝いを積極的に行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・1日の食事量、水分量を記録しており、それぞれに応じて健康に配慮している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・自分で口腔ケアできる方にはして頂き、出来ない方には半介助、全介助で口腔ケアをしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・トイレまでの行動、パット交換、一人ひとりに合わせて介助をしている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・食事の面では消化の良い物を提供しており水分補給にも声掛けしている。季節もよっては外での活動時間も作っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・ゆっくりと入浴できるように必要な介助等行っている		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・休憩や昼寝の時間がとれるようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・誤薬がないように注意している。時間を守る		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・テレビや新聞、作品づくりなど自分の好きなことをしたりされている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・ドライブなど計画して外出できるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・事務所でお預かりしている方、個人で所持されている方がいる。買い物の付き添いや代行をしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・電話をかけたり手紙のやり取りもされている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・明るく清潔な共有スペース作りを心掛けている。エアコン、空気清浄機、加湿器などで居心地良く過ごせるように工夫している</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・他利用者と一緒でも過ごすことができるようになっている。またマッサージ機も置き、いつでも使用可能となっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・テレビを置いていたりご自身の椅子(台、机)等を使用、冷蔵庫、仏壇、写真、ベッド等使い慣れた物を使用されている方もいる</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・部屋にトイレ、洗面所が備えてあり、鍵等もあり安心な生活を送っている。必要な方はコールで用を足している。手すりはいたるところにつけてある。各部屋にネームが貼ってある。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない